

ハイモル[®] スーパー#10-I

業務用



ゼロアスベスト製品
昭和電工建材のプレミックスモルタルは全て、石棉や石棉関連の素材を含まないゼロアスベスト製品です。

鏝伸び、鏝切れが良く、抜群の作業性。

ハイモルエマルジョンを
規定量混入することにより、
ポリマーセメントモルタルとして
ご使用いただけます。

| | |
|---------|----------------------------|
| 荷 姿 | 25kg防湿紙袋入り |
| 標 準 塗 厚 | 0~2mm厚 |
| 標準施工面積 | 約22m ² /袋(1mm厚) |
| 練り上がり量 | 約22ℓ/袋 |

※規定量のハイモルエマルジョンを必ず混入してください

| | |
|---------|---|
| C-1規定塗厚 | 0.5mm~1mm厚程度 |
| 適 用 部 位 | 内・外壁、内・外床、天井 |
| 適 用 下 地 | コンクリート、モルタル、PC板、ALCパネル ※ALCパネル下地の場合は、モルタルの総塗厚を6mm以下としてください |
| 適 用 仕 上 | クロス、水性塗料、エマルジョン系仕上塗材、Pタイル、タイルカーペット |

※用途につきましてご不明な点がございましたら、施工前に必ず当社へご相談ください。
※特殊下地面への施工は避けてください。

日本建築仕上材工業会登録

| | |
|------------------|---|
| 商品名 | ハイモルスーパー#10-I |
| 表示登録番号 | 2104043 |
| ホルムアルデヒド放散等級区分表示 | F☆☆☆☆ |
| 製造業者等名称 | 昭和電工建材株式会社 |
| ロット番号 | 梱包に表示 |
| 問い合わせ先 | http://www.nsk-web.org/ |

本製品は、JCQAによりISO9001認証された製造事業所によりつくられています

1 下地処理

○下地のレイトンス、脆弱層、油分、汚れ等を高圧洗浄、ワイヤブラシ、サンダー掛け等で除去し、水洗い清掃を行ってください。高強度コンクリートにつきましては、必ず高圧洗浄を行ってください。

※パネコート型枠を使用した躯体の場合、必ず高圧洗浄、ワイヤブラシ又はサンダー掛け等を行ってください。
 ※下地が高強度コンクリートの場合は、必ず超高圧洗浄(吐出圧力150MPa以上)を行ってください。
 ※浮き、剥落の原因となりますので、下地の清掃は入念に行ってください。

○塗り付け箇所は下地の乾燥後、吸水調整材として必ずハイモルエマルジョンの5倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。

2 混練

ハイモルスーパー#10-I 1袋(25kg) + 清水 約7.2ℓ + ハイモルエマルジョン 1.8kg

所定量のハイモルエマルジョン(1.8kg)と清水(約7.2ℓ)を容器に入れ、次にハンドミキサー等で攪拌しながらスーパー#10-I(1袋)を徐々に加え、十分に練り混ぜ(約3分)、施工軟度に調整してください。(可使時間は約1時間です)。練り足し、水を加えての練り直しは避けてください。

※ハイモルエマルジョンを必ず混入してください。

3 塗り付け

○吸水調整材を塗布した下地表面が乾燥後に、鍍圧を十分にかけ厚さ0.5~1mm程度でガリッと下こすりを実施後、所定の厚さに塗り付けてください。

○1日のコテ作業での塗り厚は2mm以下としてください。

4 養生

○仕上材施工までの養生期間は9日(冬期14日)以上としてください。また、通風や日射による早期乾燥を防止するため、必要に応じてシート養生、散水養生を行ってください。養生期間内に降雨・降雪等が考えられる場合には、適切なシート養生等を行ってください。

⚠ 詳細は施工要領書をご確認ください。標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。

| 試験項目 | | 試験結果 | 品質基準(JIS A 6916 : 2014) 【セメント系下地調整塗材1種】 C-1 |
|------------------------|------------------------|-----------------------|---|
| 軟度変化 % | | 0.6 | -20~20 |
| 耐ひび割れ性 | | ひび割れの発生は認められなかった | ひび割れがない |
| 耐衝撃性 | | ひび割れ及び剥がれの発生は認められなかった | ひび割れ及び剥がれがない |
| 付着強さ N/mm ² | 標準養生時 | 1.8 | 0.7以上 |
| | 低温養生時 | 1.1 | 0.5以上 |
| 吸水量 g | | 1.1 | 2.0以下 |
| 仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性 | 表面状態 | 割れ、膨れ及び剥がれは認められなかった | 割れ、膨れ及び剥がれがない |
| | 付着強さ N/mm ² | 1.8 | 0.7以上 |
| | 破断位置 | 下地調整塗材 | 仕上塗材だけで破断した場合は付着強さは0.5以上 |

試験場所: 昭和電工建材(株)技術部内
 記載の数値は試験値であり、保証値ではありません。

注意事項

《施工上の注意》

- 気温が5℃以下の時は施工を中止するか、適切な保温、採暖を行ってください。
- 施工中及び施工後、硬化前に降雨、降雪の恐れのある場合は施工を中止してください。やむを得ず施工する場合は、適切な養生(シート養生等)を行い、直接雨や雪がかからないようにしてください。強度不足や白華(エフロ)の原因となります。
- 現場にて砂、セメント等を追加混入することは絶対に避けてください。
- セメント製品に特有の現象である白華(エフロ)が発生することがありますが、品質には異常ありません。

《使用上の注意》

- 取扱い時は、必ず保護具(保護手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用してください。
- 取扱いは換気の良い場所にて行ってください。
- 取扱い後はうがい及び手洗いを充分に行ってください。
- 取扱い後の器具類は早めに水洗いしてください。

《応急措置》

- 皮膚に付着した場合: 皮膚は多量の水で洗浄してください。汚染された衣類を脱いでください。皮膚刺激が生じた場合は医師の診断又は手当を受けてください。
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していなくても、容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。直ちに医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合: 口をすすいでください。無理に吐かせないでください。気分が悪いときは医師に連絡してください。

《保管上の注意》

- 雨露のからない湿気の少ないところに保管し、直射日光を避け、地面に直接放置しないでください。
- 購入された材料は、製造日から4か月以内に使用しきってください。

《運送上の注意》

- 袋の損傷による内容物の漏れが無い事を確認してください。
- 転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
- 湿気、水濡れに注意してください。

《廃棄上の注意》

- 都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

《漏出時の注意》

- 飛散したものは掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などで回収してください。排水は中和、希釈処理などを行い、河川等に直接流出しないようにしてください。

このカタログの記載内容は2021年6月現在のものです。製品改良のためにことわりなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。カタログに記載の数値は試験値であり、保証値ではありません。安全上の注意事項の詳細については別途、安全データシート(SDS)をご参照ください。

昭和電工建材株式会社

■ 本社・建設資材営業部

〒221-8517
 横浜市神奈川区恵比須町8番地
 TEL(045)444-1691
 FAX(045)444-1699

https://www.sdk-k.com/dobokuzai_kp/

【ISO 9001 品質マネジメントシステム登録事業所】

| | | | | |
|-------------|-----------|-----------------|--------------------|--------------------|
| ■ 仙台営業所 | 〒983-0841 | 仙台市宮城野区原町3-7-14 | TEL (022) 742-5077 | FAX (022) 291-1911 |
| ■ 名古屋営業所 | 〒460-0008 | 名古屋市中区栄3-11-23 | TEL (052) 249-3151 | FAX (052) 249-3152 |
| ■ 大阪営業所 | 〒532-0011 | 大阪市淀川区西中島6-5-3 | TEL (06) 6100-2202 | FAX (06) 6100-1232 |
| ■ 福岡営業所 | 〒810-0001 | 福岡市中央区天神4-1-1 | TEL (092) 737-5061 | FAX (092) 737-5062 |
| ■ 関東SCMセンター | 〒120-0024 | 足立区千住関屋町1-4 | TEL (03) 3881-5001 | FAX (03) 3870-3952 |
| ■ 東北SCMセンター | 〒983-0034 | 仙台市宮城野区扇町1-7-2 | TEL (022) 231-2070 | FAX (022) 231-2073 |
| ■ 中部SCMセンター | 〒452-0837 | 名古屋市中区西郷1-17-2 | TEL (052) 501-2421 | FAX (052) 501-2424 |
| ■ 関西SCMセンター | 〒567-0058 | 茨木市西豊川町14-3 | TEL (072) 641-6399 | FAX (072) 641-6401 |